

# 東京国公だより

東京国家公務員・独立行政法人労働組合共闘会議 2017/4/18 16-31号

【電話】03-3501-6973

【FAX】03-3500-4391

【Eメール】

[office@tk-kokko.org](mailto:office@tk-kokko.org)

URL: <http://tk-kokko.org/>

4.17 船舶総行動 2017年4月17日

## 過酷な海上労働に見合った処遇の 改善を求めて、「海の男」等延べ 120人が一日行動

08:45～霞が関で宣伝 11:00～人事院交渉

お昼休み人事院前行動 14:00～16:30 学習交流会



4月17日、国公船舶連絡連（東京国公、国公労連、全農林水産分会、国土交通労組などで構成）は国公船舶職員の処遇の改善を求めて、朝の宣伝行動を皮切りに、11時から人事院交渉、お昼休みには人事院前行動、午後からは、学習交流集会を行いました。お昼休みの人事院前行動では主催者を代表して水谷孝男東京国公議長は「船舶職員は年180日も家族と離れ、危険とも隣合せの中で、海の安全や海洋資源の確保、密漁の取り締まり等々の任務についています。しかし昇任・昇格＝給与面等労働条件はきわめて劣悪な状態と言っても過言ではない。船舶職員の状況をよく知り、国公労働者全体の運動で処遇の改善を勝ち取ろう！そのために全力を尽くそう！」と呼びかけました。

# 船舶職員の業務を知り、国公労働者全体の力で処遇の改善を勝ち取ろう！

**南トラフ巨大地震などの防災対策の確立を**

東日本大震災の教訓をもとに、2013年6月に「港湾法」が改正され、非常災害時における港湾機能及び航行の早期復旧・維持の国の役割が示されました。しかし海洋における「国の防災対策」は不十分です。海洋環境整備船の全国配置など、緊急事態に備えた防災対策が強く求められます。そしてそうした船舶を実際に運行、稼働させているのはもちろん、国公船舶職員ですから、増員と労働条件の整備が求められます。

主催挨拶・水谷東京国公議長



## 国公船舶職員

## は、国民生活

## の安全・安心

## を守るために

## 日夜奮闘して

## います

資源確保や密猟の取り締まり、この辺は多くの方々  
に知られています。

## 海洋環境整備

## 船を紹介

ところで国土交通省地方整備局所属の海洋環境整備船がどんな仕事をやっているのか、すぐに思い浮かべることができませんか？本誌面では海洋環境整備船の役割を紹介しましょう。

海上における浮遊ごみや油回収など、海洋の豊かな自然環境を維持し、自然災害時の緊急物資輸送と

港湾機能の速やかな復旧、の任務を持つているのが、海洋環境整備船です。全国に12隻保有されています。

名古屋、新潟、北九州には「大型ドラッグ浚渫船兼油回収船」いう大型船が配備されています。

## 航行の安全確保

全国に配備された環境整備船は、日々航路の維持浚渫や湾内に浮遊する大量のゴミの回収を実施し、国内外の船舶の航行安全を確保するために稼働しています。

また海難事故や衝突事故による油流出事故も頻

発しており、その都度出動して、海洋環境を守っています。1997年には、日本海でナホトカ号や東京湾のダイアモンドグレー

ス号の油流出事故が連続して起きましたが、自然環境や地域経済を守るために大いに奮闘しました。

## 東日本大震災でも支援のため大活躍

東日本大震災では、日本中が混乱する中、「大型ドラッグ浚渫船兼油回収船」3隻が動員され、支援物資を輸送。また一般海洋環境整備船4隻が、約1ヶ月被災地に張り付き港湾の復旧にあたりました。